

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.11 日吉大社自然観察倶楽部総会 H24年3月17日



時折、小雨の降る中、9名で総会を行いました。まずは日吉会館に集まって、今年度の予定などを話し合いました。今年のテーマは、「桜」「茶」「松」「柿」「色」の5つの予定です。

「桜」→坂本と日吉大社境内の桜を観察
「茶」→日吉茶園のお茶づくりとお茶会
「松」→唐崎神社の霊松の保全と活用等
「柿」→豆柿や渋柿を使った柿渋づくり
「色」→日吉大社の植物を使う草木染め

続いて、「杜の美術館・日吉大社」への協力についても話し合いました。来年、日吉大社の境内で、現代美術の展覧会が行われる予定です。ちょうど、観察倶楽部がお茶づくりとお茶会をするのと同じ時期です。そこで、私たちがワークショップなどで参加したいと思っております。

他には、大木調査や大津市の花であるエイザンスミレを観察する場所を作りたい事などを話し合いました。また、個々人で日吉大社の自然調査をして、記録をし、データを持ち寄る事も始めました。

次に、日吉会館を出て、**植物の標識を立てに行きました**。右下の写真が、会員の佐方さんと中川さんの作られた標識です。竹に針金で固定するタイプと自立式のタイプです。[万葉の植物と奥宮参拝\(H23年10月16日;通信8号\)](#)で紹介した万葉の植物を知ってもらおうと、日吉大社さんの協力で作らせてもらいました。日吉大社にも、以前からタラヨウ(葉書きの木)・カツラ・ナギなどの立て札があります。今回作った立て札は、日吉大社の景観に配慮したデザインで、植物の名前と万葉集の愛の歌が書かれています。歴史やロマンチックな和歌が好きな方にぜひ見て頂きたいです。全部で4つあります。探してみてください。

- 1, 東本宮のかつら
- 2, 東本宮のさくら
- 3, 山王鳥居横のさくら
- 4, 神猿横のかえるで



最後に、日吉大社の子安社に柿渋を塗りました。
柿渋とは、渋柿から作られる防腐剤で、日吉大社でも使われています。以前、観察倶楽部で作った柿渋(柿渋を作ろう H22年9月26日)を使って、社に防腐処理を施していきます。須原さんによると、こけら葺きの屋根に柿渋を塗ると効果が高いらしいのですが、あいにくの雨なので、側面の木の部分に塗ることにしました。

柿渋をムラが出来ないように塗る事は意外と難しく、次々塗っていると、上から柿渋が垂れてきます。それを伸ばす係も必要でした。

この作業を通して、自然だけでなく、社の構造やそれを作る宮大工さんの事にも関心が及ぶようになりました。何にせよ、日吉大社の柿を使って柿渋を作り、それを境内の社に塗っているという循環が出来ていることが素晴らしいことだと思います。



柿渋を塗る作業



30分ほどで作業終了です。これで、雨や風から社を守ってくれることでしょう。日吉大社を訪れる楽しみが、また一つ増えました。



作業前



柿渋を塗った後

<次の予定>  **桜の観察会**  坂本と日吉大社の桜を探します。
4月8日(日) 9:00に坂本観光協会前に集合
参加費: 500円